

ルワンダ国際交流体験派遣報告会

本学の大学院生4名が、小野由美子先生の指導のもとルワンダ共和国のトゥンバ高等技術専門学校(TCT)での国際交流・国際協力体験に参加しました。帰国後、ルワンダ派遣報告会を行いました。その報告会について紹介します。

1. 日時 平成26年12月15日(月) 午後6時30分より
2. 場所 鳴門教育大学 講義棟201教室
3. 報告者 梯泰三(国際教育コースM1) 川口綾美(国際教育コースM1)
高橋功(人間形成コースL1) 畑山菜々美(音楽コースL1)
4. 参加者 学生13名 鳴門教育大学教員4名 JICA四国2名
5. 報告内容

報告内容	発表者	概要
(1) 派遣目的	畑山	日本とルワンダの学生の文化交流と相互理解を図るため
(2) 日程	畑山	平成26年10月31日(金)から11月10日(月)
(3) ルワンダについて	梯	ルワンダ基礎情報・ジェノサイド博物館・アカゲラ国立公園などについて
(4) 現地での生活	畑山	ルワンダの食生活・交通・住環境などについて
(5) TCTでの交流活動	川口	日本文化の紹介・日本の教育についての発表・TCT学生との交流などについて
(6) 小学校での交流活動	高橋	情操教育を目的としたスポーツイベントの企画と実施について
(7) おわりに	全員	ルワンダで学んだことについて

参加者の発表後、小野先生より本企画の趣旨の説明がありました。それによると、TCTでの国際交流・国際協力体験の機会を設けることで、学生自身がその機会を活かして主体的に学んでほしいとの思いがあったそうです。また、来年度も同様の活動を行いたいとも話されました。JICA四国の尾上様からは鳴門教育大学とJICAによる教育協力の事例や青年海外協力隊についての説明を頂きました。

参加者からの質問として、現在のルワンダでジェノサイドはどのように捉えられているかというものがありました。短期間では充分なことを知ることは出来ませんでした。TCTの学生との会話の中で、偶然にジェノサイドに話が及んだ際の思いを私(梯)が伝えました。参加者の中には、来年度も同様の体験があるならぜひ参加したいという希望も聞かれました。

6. アンケートから

報告会の最後に参加者にアンケートを実施しましたので、その結果を紹介します。

- (1) アンケート回答者 15名

(2) アンケート結果

[1]なぜ、この報告会に参加しましたか。(複数回答)

- ①ルワンダに関心があるから。8名
- ②国際交流に関心があるから。11名
- ③誘われたから。10名
- ④その他
 - ・写真展を見て報告会に関心を持った。
 - ・ルワンダのお茶を飲んでみたかった。など

[2]報告会の内容を聞いて、ルワンダを訪れてみたいと思いましたか。

- ①はい 13名
- ②いいえ 2名

「はい」の理由

- ・国立公園などの自然を見てみたいから。
- ・小学校で授業をしてみたいから。
- ・ルワンダに好印象を持ったから。 など

「いいえ」の理由

- ・英語に自信がないから。
- ・時間的な制約があるから。

[3]報告会の感想を書いて下さい。

- ・ほとんど知らなかったルワンダについて知ることができた。
- ・ジェノサイドの話に関心を寄せました。この悲劇をもっと知らなければいけないと思った。
- ・教員として、開発途上国の教育にどのように向き合うのか考えた
- ・ルワンダの生活の知ることができました。お茶がおいしかったです。 など

7. 報告会を終えて

4人がそれぞれの目的や思いを持って、ルワンダでの活動に取り組みました。ルワンダ派遣を終えてもうすぐ2か月になろうとしています。報告会を行うことで、私たちは改めて自らの経験を振り返ることができたと思います。また参加者の方々から、様々な意見や質問を伺うことで、私たちの学びが深まりました。今後は、ルワンダでの学びを活かしていかなければならないと考えています。

8. 報告会の様子



上の 2 枚の写真は発表の様子です



指導していただいた小野由美子先生

JICA 四国の方々



ルワンダ茶（イチャーイ）を振舞っています

参加していただきありがとうございます